

うめナビ

2013.9
Vol.18

高付加価値植物水耕栽培装置 「まちだ式新農法」で 「まちだシルクメロン」を栽培

まちだ
シルクメロン農園

1株から60個も
収穫される「まち
だシルクメロン」
をご存じですか？

平成21年より町
田商工会議所工業
部会の会員企業を
中心に基礎研究が
始まり、町田市内
外の精密機械メー
カーや医療機器
メーカーなど地域
の企業10社の技術
協力にて試験栽培
されたメロンであ
る。昨年にはテ
レビや新聞で大き
く取り上げられ、
町田市の方ならご
存知の方も多いただろう。

このメロンの最大の特長は、土
を使った通常の土耕栽培ではな
く、水耕栽培である点だ。特筆すべ
きは、地域の協力企業の技術力を
集結させて生み出された「まちだ
式新農法」と呼ばれる水耕栽培装
置である。水耕栽培のメロンは根
が腐りやすく、まちだシルクメロ
ンも初期の試験栽培段階では根腐
れを起こしたことがあったが、各
企業の専門技術(例えば流体や電
子の制御技術)により、水槽内に理
想的な渦を発生させることで根が
絡まずに放射状に育ち、すみずみ
にまで酸素や養分が行きわたりや
すい環境をつくりあげることにな
功した。この農法を利用すること
によって、通常であれば1株で1



糖度15度という高品質の「まちだシルクメロン」

〜4個程しか収穫できないメロン
が、約60個も収穫可能となり、無農
薬・低コストで高品質なメロンの
収穫と併せて、装置の一般販売を
めざしている。

まちだシルクメロン農園(町田
市小山ヶ丘、林大輔代表、042-
798-4911)の林代表は、「水
耕栽培装置の販売を通じ、農商工
連携モデルが創造的貢献型企業に
なる」という新たな目標も掲げて
いる。メロンが地域資源化するこ
とで、多様な二次加工商品が誕生
するなど、地域の発展につながる
ことを期待したい。

詳細・ご質問・ご相談はお気軽
にお問合せください。

まちだシルクメロン公式ホーム
ページ <http://machida-melon.jp/>

あらゆるものに印刷可能な 大型インクジェットプリンター 輸入・販売・保守までお任せを

ルキオ

ルキオ(世田谷区奥沢、古谷庄悟
社長、03-5758-0687、
<http://www.lukio.com/>)は平成6
年の創業から一貫して大型インク
ジェットプリンター(IJP)の輸
入販売を行い、国内メーカーには
ない3〜5m幅のものを印刷する
プリンターまで取扱う。

また、輸入販売に留まらず、販
売後の保守サービスを行うのも
大きな特長だ。創業した頃は三井
物産や丸紅など大手商社も大型
IJPの輸入販売を行っていた
ものの、保守面での採算性を理由
に撤退したため競合が少なく、カ
ナダの Gandydigital社、スイス
の swiss print社など、海外メー
カー品輸入の日本総代理店として
存在価値を高めている。

そして現在、保守サービスで
培ったIJP技術と知識を活か
し、アジアメーカーを中心に共同
企画・開発にも携わり、日本のニ

ズに合ったIJP開発に積極的に
取り組んでいる。将来的には、海外製
品を手直しできる自社工場を持ち
たいとのこと。

インクを吹き付けて印刷する非
接触タイプのインクジェット技術
(IJ)は、印刷対象物に接触する従
来手法(日本主流のオフセット印
刷など)と違い、材質や表面の凹
凸・質感に影響されずあらゆるも
のに印刷できる利点を持つ。また、
IJでは従来手法に共通する必要
だった「版」が要らず、少数数や修
正におけるコスト増を抑えられる
ので、試作品や限定品など小ロット
ト多品種の印刷にも対応できる。
「印刷のスピードやキレ、きめ細
かさではオフセット印刷には劣る
が、その差は確実に縮まってきて
いる」と古谷社長は語る。さらに、
「これからはオリジナリティが重
要視される時代。小ロット多品種
に強いIJの需要はもっと高まって
くる。IJを日本



スイス製の大型インクジェットプリンター



インクジェットはあらゆる素材にさまざまなデザインが印刷できる

の産業界にと
んどん浸透さ
せ、さまざま
業種とコラボ
レーションし
たい」と意気込
む同社、この素
材にこういつ
た印刷をした
い!という相
談があればぜ
ひ一度、お問合
せいただきました

うめナビ 送付先業種												合計 308先
	商社 12先	スーパー・小売・百貨店 24先	メーカー 18先	マスコミ 58先	教育(大学・専門学校) 30先	公共機関 15先	ホテル 14先	金融 33先	建設関連 20先	システム関連 11先	その他 73先	

※本誌は、城南信用金庫のお取引先に配布する他、商社、百貨店、スーパー、メーカー、マスコミ、大学等にもお届けしています。

ITシステム技術でお悩み事を解決！ 「企業のITドクター」 ゼネラルホスピタルをめざして

シンカーミクセル

昭和61年に設立したシンカーミクセル（港区赤坂、櫻井孝志社長、03・6440・0820）は、ITシステムの開発を中心に、ITインフラ・ネットワーク、教育事業、ISOコンサルタントなどを行う会社である。「システムエンジニアがシステム開発によってお客様の経営課題を解決する様は医者の仕事に似ている」という櫻井社長が「医者」と「総合病院」をイメージして、「企業のITドクター・ゼネラルホスピタル」をめざしている。



ITドクターをめざす若手社員

健康管理を継続して行う。

「ITドクター」として、「治療」だけでなく「予防」も重視する点に特長がある。顕在化した問題のみを解決するのは、単なる応急処置に過ぎない。まずは顧客の健康状態を総合的にチェックし、経営方針や今後の事業展開について顧客の経営層へ徹底的にヒアリングする。次に、現状に対する治療策だけでなく、将来的な予防策も併せて提案する。そして提案内容をシステム構築した後も、今後の健



櫻井孝志社長

ITや経営でお困りのことがあれば、ぜひシンカーミクセルへご相談ください。
詳しくはホームページにて
(<http://sincormixell.jp/>)

また「ゼネラルホスピタル」として、グループ経営（エクソングループ）によって、ITシステムを中心に、ITインフラ、教育事業、人材派遣、音楽出版など顧客の業界・業種にこだわらない多彩な専門業種に対応できることも特長だ。これまで同社が手がけたシステムは、アミューズメント施設のチケット発券、病院の電子カルテや医療会計、学習塾の個別指導管理、大学の出席管理、不動産業者の住宅販売、マラソン大会の会員登録、福祉介護施設の入居者管理など大変多岐にわたり、数多くの企業の経営の悩みをIT技術で解決してきた実績がある。

軍需用革具を手がけて 受け継いだ「職人技」 皮革製品製造・加工の老舗

石井製作所

石井製作所（本社工場・世田谷区代田、石井朝道社長、03・3413・5451）は先代の石井重男代表が、昭和9年に軍需用革具製造の個人事業として創業した。昭和35年に石井製作所として法人成りした以降も、半世紀以上にわたって皮革製品の製造・加工を手がけてきた実績をもつ。

古くは軍隊の乗馬用の馬具作成やトランジスタラジオのケースを製造していたという同社、もともと過酷な現場で長時間使用されるに足る実用性と耐久力を備えた丁寧な仕事ぶりには定評がある。現在では、電気工事業などで使用している腰袋など、さまざまな業務用皮革製品を製作している。腰袋は約1カ月の納期でより軽く丈夫なレザー（合成皮革）で製作するが、使用するのが天然の革である場合は、同じ製品をつくる際でも、それぞれの革の特徴や状態が異なるので画一的な工程では対応できないことも少なくない。皮の裁断・プレス加工は本社工場で作業して



石井朝道社長



革の裁断機・プレス機

「製品自体というより「職人技」を売るのが我々の仕事でもある」と石井社長は考えており、皮革製品の取扱いに必要不可欠な高い技術力を、現在、長男である忠道氏が後継者として受け継いでいる。皮革製品の加工技術で高い評価を得ている同社に興味をお持ちの方は、是非お問合せを。

から栃木工場に持ちこんで量産するなど、作業工程を工夫して効率を上げる。皮革の



電器工事業などで使用される腰袋

特性の見極めには熟練した匠の技が必要であり、技術と経験をもとに顧客のニーズにいかに対応していくかを考え、「製品に誠心誠意、心をこめて」「軽くて丈夫な、長期使用に耐えるもの」この2点をモットーに、皮革製品の注文にきめ細かく対応している。

作業工程を標準化するソフトウェア開発 顧客目線の徹底した アフターフォロー

ファクト

ファクト（横浜市神奈川区西神奈川、倉澤一重社長、045・3316・4331）は、CAD/CAMソフトウェアの開発・販売、社内ネットワーク環境の構築等を行っており、近年では、マシンングセンターや複合加工機の同時5軸制御加工プログラムに対応したCAMソフトウェアの開発を主業としている。

同社は、「世の中のお役に立つ技術を提供すること」をモットーに取組んでおり、お客様のニーズに合った製品の開発から、設置後のアフターフォローに至るまで、常にお客様の立場に立った営業を行っている。会社設立のきっかけは、「将来は熟練工が減少して作業工程の標準化が必要になるはず」と考えたことであり、少数精鋭の社員たちが、「どうすればより良い製品をつくるかが可能か」と常に問題意識をもちながら業務に取組んでいる。

従来から使用されているCAMソフトウェアは、各工程において、工具を選択し、加工条件などを個別に選択するため熟練工の豊富な経験が必要になる。これに対し、同社が開発したソフトウェアは、数値を入力すれば、工具の選択や加工条件は自動的に設定されるので、誰でも使用できるよう作業工程を標準化することが可能となった。

また、同社では、テレフォンサポートをはじめ、メールサポート、リモートサポート、定期訪問

サポートなど充実したサポート体制をとっており、これも、導入企業から高い信頼を得ている理由である。

「当社のホームページ（<http://www.fact-cam.co.jp/>）から動画で製品のデモンストラーションを見ることができるので、興味のある方は是非一度、アクセスしていただきたい」と語る倉澤社長。今後も同社は、世の中の役に立てる製品の開発を続けていくことだろう。



「2013"よい仕事おこじ"フェア」での展示風景



倉澤重満会長

「横浜・川崎の街が大好きです」 をモットーに!

リム横浜



リム横浜



店舗内

リム横浜(横浜市青葉区美しが丘、齋藤宣社長、045・903・5050)は、東急田園都市線沿線を中心に店舗を構え、賃貸不動産の管理業務をはじめ、売買物件の仲介管理業務、建築企画設計業務、リフォーム関連業務など、不動産に関する事なら何でも対応可能な、地域に密着した不動産のトータル・プランナーである。

中でも同社は賃貸物件の管理業務を得意としており、空室状況の管理から、家賃の徴収管理、入居者への対応など、独自で開発したシステムを活用しながら迅速に対応している。

同社では、1級建築士の資格を持った齋藤社長の長年の経験を活かして、「管理部」「賃貸部」「工事部」「支店」の4部署が連携をとりながら、24時間緊急管理体制をしいて日々お客様をバックアップしている。また顧問弁護士や税理士の専門知識を活用したアドバイ

スを行うなど、賃貸不動産のオーナー向けサービスも充実しており、お客様から好評をいただいている。

齋藤社長の「地域を知らなければ建物を建てることできない」という考えのもと、長年築き上げた地元とのネットワークを活かした市場ニーズの把握や地域情報の収集によって、他社との差別化を図り、付加価値を付けて、地域に合ったものを提供している。

社名にある「リム(rim)」とは、自転車のタイヤを保持する輪のことであり、不動産ビジネスの輪を示している。この輪のように、大好きな街に住む人たちをつなげる企業をめざしたいという齋藤社長のこだわりが表れている。不動産のお悩み事がある方は是非一度、同社に相談してみてもいかがだろう。

詳しくはホームページにて!
(<http://www.rim-yokohama.com/>)

24時間、迅速対応! 防犯機器、電話、ファックス、パソコン等、 弱電機器なら何でもお任せ!

シンヨー・エーブイ・センター



湯浅社長

シンヨー・エーブイ・センター(横浜市瀬谷区橋戸、湯浅眞平社長、045・303・1141)は、防犯機器、通信機器、視覚覚醒機器、教育機器、家庭用電気機器、その他電気機械器具の販売、工事、保守メンテナンス業を営んでいる。

同社の強みは、大きく3つ挙げられる。1つ目は、ワンストップですべてのサービスが可能であるため、安価で幅広い提案ができる点だ。

2つ目は、パナソニックを中心とする大手メーカーの器具を販売管理できる点である。約40年にわたって積み上げられた営業努力により、メーカーに近い値段での販売が可能である。また、豊富な知識と経験により、どのメーカーの修理にも対応できる。

そして3つ目は、メンテナンスの体制である。湯浅社長は「お客様が困っている時間を少しでも短くすべく、いち早く対応すること」をモットーとしており、24時間体制で専門の技術者が電話対応を行っている。そのため、お客様の要望の1つひとつにスピーディーに対応することができる。このような



同社が取扱う最新の防犯カメラ

弱電機器すべてを取扱う中で、現在、同社が特に力を注いでいる分野が「防犯部門」である。大手コンビニエンスストアでは、約400店舗の防犯カメラの設置、メンテナンスを行っている。防犯カメラも日々進化しており、画素数は130万画素、容量は6テラ(約6カ月の鮮明な画像を保存できる)を有する機器もある。また、360度の撮影を可能とするカメラや、生体認証付きのカメラの取扱いも開始する。

「今後もお客様が我が社を必要としてくれる限り、精一杯対応する。そのためには、若手社員を少しでも早く一人前に育てたい」と湯浅社長は優しく語る。

「笑顔創造」「感動創造」

スマイル
クリエーション



笑顔あふれる職員

平成14年に設立されたスマイルクリエーション(大田区池上、田中功佑社長、03・5747・5255)は、居宅介護支援事業や通所介護(デイサービス)、福祉に関するトータルサービスを主に扱っている。大田区内に5つの「でいほーむ」というブランドの通所介護事業所と「スマイルライフケア」という居宅介護支援事業所の計6事業所を展開し、地域に密着したお客様とのふれあいや笑顔を大切にしながら環境を提供している。

居宅介護支援事業では、在宅での介護や介護全般のご相談などお客様一人ひとりに応じて適切なケアプランを組む。オーダーメイドのケアプランを作成することでご家族や利用者様が満足し、安心して暮らせる住環境やサービスが提供できる。

今年6月には、JR大森駅近くに「でいほーむ大森」を開業。清潔感のあるCafe Styleのデイサービスであり、ゆったりとくつろげる空間で、完全個室相談室やプロジェクターなども設置され、充実した施設になっている。また、お誕生日会や懇親会など、年間を通じてさまざまな楽しい行事やイベントを行っている。

田中社長は「当施設では、日頃から“うきうき”わ



ゆとりと落ち着きを感じる空間

くわく、ドキドキ”というような”ひと”本来の楽しみや感動を、お客様、スタッフがともに共有できる環境づくりを心がけております。これからは福祉という枠を越え、心のこもったコミュニケーション空間をご提供し続け、さらなる飛躍をめざしていきたい」と語る。職員同士の合言葉は「たくさん笑顔交換しよう!」。「ただいま」と入り、「おかえり」と迎える。何気ないその一言も、出会いや喜び、発見、満足、充実を数多く感じながら毎日働く同施設のスタッフならではの自然な言葉だ。

高齢化社会の時代、人と人との関わりがますます重要になる。感動創造の「笑顔創造」は、地域の人々の心強い味方となるだろう。

「新たな創造へ導く化学の源」 創業から63年、 合成香料メーカーの老舗

井上香料製造所

井上香料製造所(世田谷区奥沢、井上裕之社長、03・3726・1861)は、香料の合成技術を広く活かしたいという創業者の思いから、昭和25年に設立された。以来60年以上にわたり、合成香料メーカーとして新しい価値を生み出し続けている。長年培ってきた合成技術を駆使し香りを追求した単品香料の数は、なんと2000種類以上に及ぶ。国内ほぼ全ての香料会社に使用されるほど、同社の製品は業界に浸透し絶対の信頼を得ている。



香料の製造過程をチェック

同社の香料は、食品や化粧品など我々の身近なものに数多く使用されている。食品のフレーバーが主であるが、香水、シャンプー、石鹸等のフレグランスを研究開発しており、少量多品種の品揃えを活かして中小の化粧品会社にも製品を供給している。
製造においての一番のこだわりは、もちろん「品質」。ヒトは匂いには敏感で、製品の香りのバラツキは顧客の信用失墜に直結する。原料や各製造工程の管理を徹底し、品質をつくりこみ、検査ののち、製品として出荷される。
昨年、中国に事業所を開設してマーケットを海外に拡大した。日本では既に成熟産業である香料分野も、中国においてはまだまだ成長の余地は大きいと見ており、中国の市場にしっかりと入りこみ、日本国内と同様の高品質なサービスを提供して地位を確立する狙いである。



2000種を超える製品の数々

クラシックカーの輝きを永く広く伝えたい 自動車修理・保全の スペシャリスト

サファリモーターズ



「品川クラシックカーレビューイン港南」の模様

サファリモーターズ 港区港南、佐々木徳治郎社長、03・3472・4721、<http://www.safarinotors.jp/>は、自動車の一般整備を手がけるのはもちろん、「旧車」の修理・保全を行う、いわゆる「レストア」のスペシャリストである。長年培ったノウハウから車検や修理の際に生じるさまざまな問題を解決し、クラシックカーオーナーの大きな不安要素を取除く。

レストアの作業は、カタログや図面、写真や雑誌など販売当時の資料から車の状態を詳しく調査することから始め、既に生産されていない部品は、修理の過程で一つひとつ作製する。同社では、過去40年以上にわたる実績・経験をもとに、大手広告代理店や自動車メーカーから多数のクラシックカー展示依頼を請け負っており、日産自動車や所有する約400台のクラシックカーのメンテナンスも任されている。全国各地へ移動が必要な際は、万が一横転



年代を重ねた名車の醸し出す重厚さ

しても積載した車輛には傷一つ付けない特殊なトラックが活躍し、安全対策も抜かりない。
全日本ダットサン会の会長でもある佐々木社長は、一台でも多くの「ダットサン」ブランド車を動態保存することにこだわりを持つ。春と秋には、品川駅港南口前にて「クラシックカーレビューイン港南」を、警視庁高輪署の交通安全イベントと合同開催している。イベント時には、交通安全を呼びかける警察署長やアイドルとともに数多くのクラシックカーが街をパレードする。名車の数々が放つ独特の存在感が印象的だ。
佐々木社長は、「車は愛情で動くもの」という創業当初からの社訓をお客様の想いに重ね、大切にしている。「年代を経てこそ際立つてくる名車たちの輝きを再現し、その魅力を伝えていきたい」と心をこめる。

中小企業システム運用の強い味方! 最短3分でデータベース化可能な 「クラウドシート」

イエロー・スパローズ

イエロー・スパローズ(品川区南大井、酒巻康次社長、03・6450・0975)は、ITコンサルティング、システム開発、サポート、パソコン教室の運営を主業務としている。中でも、エクセル形式でシートを作成するだけで、データの整理・共有・集計・分析などが自動でデータベース化される「クラウドシート」は、同社の代表製品である。
「クラウドシート」は「少ない費用で成果を出す」という酒巻社長の基本方針のもと、今までのように省力化だけを目的としたシステムから、これからの時代は、人材能力の発揮、チーム力強化を目的とした多層的なシステムに変革しなければならぬという明確な意図をもって開発された。従来使用していたエクセル帳票を簡単にク



「クラウドシート」を起動させたパソコン画面

ラウド型のデータベースシステムにするサービスなので、一般的な販売・購買管理や生産管理以外にも、品質管理やISO文書管理、出勤管理、営業日報、アンケート集計など、各社の現況に合わせて活用できる。また、月額980円からという低価格を実現!専門知識も必要なく、クラウド化されることでインフラや運用スタッフにかかっていた人件費などの費用も大幅に節約可能になり、特にITシステムの導入が難しかった中小企業の皆様にも手軽に運用しやすいといった新しい製品となっている。
さらに、データベースを自動で統計分析やグラフィック化できる製品「クラウドクエリ」の今期中実用化をめざし開発を進めているので、こちらにも期待したい。
詳しくは、ホームページにて
(<http://www.yellowsparrows.com>)



各所ビジネスフェアで「クラウドシート」をPR!